



校訓「至誠」

母校 元小

学校だより
令和8年3月
川口市立元郷小学校
児童数：433名



元郷小HP

いのちを大切にする

校長 根本 広徳

3月の講話朝会では、発生から今年で15年目になる「3.11 東日本大震災」について、震災直後にボランティアで入った石巻の様子や、その後の被災地の様子を記録した写真を子供たちに見せたいと思います。

今の6年生が生まれる前の出来事であり、その後、子供たちが東日本大震災について考えることは稀だったのではないかと思います。まずは、当時の様子を見てもらうことにしました。そして、次の機会には、ボランティアで活動している中で、感じたことや見聞きしたこと、考えたことなどを伝えていきたいと考えております。



震災直後の被災地の様子 左から学校前のがれき 道路わきの様子 流された船が重なっている様子 高台の公園から見た様子

今年1年間、様々な場面で「いのちを大切にする」ことについてお話をしてきました。子供たちが成長しながら様々なことに挑戦して、一つ一つ自信につなげている様子や友達との関係で悩みながらも自分を見つめ直し、相手のことをよく考えて行動にうつしている様子、また、自分の掃除場所を丁寧に丁寧にきれいにしている様子を見てみると、「自分のいのち」「人のいのち」「もののいのち」を大切にする力が育っているのを実感します。

そして、これは、まさに、「いのち」そのものに直結することですが、登校時、道路を横断するとき、停まってくれた車の方に丁寧に礼をして渡っていく子供たちを見て、自分のいのちを守るとともに、礼をすることで運転している方々の気持ちをやわらげ、結果として地域のいのちを守ることに繋がる行動をしていることに、何と貴いことかと感動を覚えます。班長さん、副班長さんだけではなく、元郷小の子供たち全員がそのように行動できれば、交通事故が起こらない南平地区になっていくと思います。

このような誇らしい子供たちが育っていることは、ひとえに保護者の皆様方や地域の皆様方が、子供たちへ深い愛情をかけてくださっているからだと思います。深く深く感謝申し上げます。

早いもので、令和7年度も残すところあと3月のみとなりました。1か月ではありますが、子供たちひとりひとりが伸びよう伸びようとする力を存分にさせるように伴走し、見届けていきたいと思っております。引き続き、皆様方のご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。